

重要情報シート（個別商品編）

1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ニッセイA I 関連株式ファンド（為替ヘッジあり） （愛称: A I 革命（為替ヘッジあり））		
組成会社（運用会社）	ニッセイアセットマネジメント株式会社	販売委託元	ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	投資対象とする外国投資信託証券を通じ、日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。 信託財産の中長期的な成長を目指し日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。		
パッケージ化の有無	このファンドは、複数のファンドを組入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。ただし、これらを個別のファンドとして購入することはできません。	クーリング・オフの有無	ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第 37 条の6の規定)の適用はありません。

<次のようなご質問があれば、お問い合わせください>

- あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生ずるリスクの内容	ファンドは、主に国内外の株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落、組入株式の発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。  主なリスクは、以下の通りです(ただし、以下に限定されるものではありません)。 株式投資リスク/為替変動リスク/カントリーリスク/流動性リスク
(参考) 過去1年間の収益率	12.1%(2023年10月末現在)
(参考) 過去5年間の収益率	平均 9.2% 最低-43.9%(2022年12月) 最高 69.2%(2021年4月) (2018年11月～2023年10月の各月末における直近1年間の数字)

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は【交付目論見書】の「運用実績」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お問い合わせください>

- 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生いたします）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	購入代金	手数料率
	1,000万円未満	3.30% (税抜き 3.00%)
	1,000万円以上 5,000万円未満	2.75% (税抜き 2.50%)
	5,000万円以上 1億円未満	2.20% (税抜き 2.00%)
	1億円以上	1.10% (税抜き 1.00%)
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	運用管理費用(信託報酬)は毎日、ファンドの純資産総額に年率 1.8925%(税込)程度をかけた額とし、ファンドから実質的にご負担いただきます。また、監査費用は毎日、ファンドの純資産総額に年率 0.011%(税抜 0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 その他、組入資産の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は随時、ファンドからご負担いただきますが、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	
売却(解約)時に支払う費用 (信託財産留保額など)	ありません。	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お問い合わせください>

- 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

(裏面もご覧ください)

#### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

このファンドの償還日は、2044年10月25日です。ただし、償還延長や繰上償還場合があります。

このファンドに解約手数料はありません。また、信託財産留保額もありません。

金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消すことがあります。

なお、申込日がニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、換金の申込みの受け付けを行いません。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お問い合わせください>

・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

#### 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまにこのファンドを販売した場合、当社は、お客さまが支払う費用(運用管理費用(信託報酬))のうち、組成会社から年率 0.88%(税抜 0.8%)の手数料をいただきます。

・当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。

・当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、当社ホームページの「利益相反管理方針の概要」をご参照ください。

<https://www.kyokuto-sec.co.jp/service/support/>



<次のようなご質問があれば、お問い合わせください>

・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

#### 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

・分配時における所得税および地方税は、配当所得として普通分配金に対して 20.315%課税されます。

・換金(解約)時および償還時における所得税および地方税は、譲渡所得として換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して 20.315%課税されます。

なお、法人の場合は上記とは異なります。

・この商品の NISA、iDeCo の取扱いはい以下のとおりです。

NISA（成長投資枠）	○	NISA（つみたて投資枠）	×	iDeCo	×
-------------	---	---------------	---	-------	---

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

#### 7. その他参考情報

販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」	目論見書補完書面は、当社ホームページには掲載されておりません。 ご希望があれば、書面でお渡しします。	
商品の詳細については、当社ホームページをご覧ください。	<a href="https://ficom2.artis-asp.jp/kyokuto/funds/7023/basic">https://ficom2.artis-asp.jp/kyokuto/funds/7023/basic</a>	